

「きさ教育の日」開催

1月25日(土)の午後から「きさ教育の日」を開催しました。青少年育成吉舎町民会議主催の「吉舎児童生徒意見発表大会」ときさ小中一貫教育推進協議会主催の「きさ音楽祭」を「きさ教育の日」として合同開催しました。当日はご来賓をはじめ、地域の方・小中学校の保護者総勢約250名の方々にご来場いただきました。

第13回吉舎児童生徒意見発表大会では、「私たちの未来」というテーマで発表を行いました。吉舎小学校6年木村伊吹さん「優しさは、平和へのスタート地点」、安田小学校6年白附青空さん「環境を守るために」、吉舎小学校6年中村望来さん「核なき世界への第一歩」、八幡小学校6年吉川夏歩さん「豊かな自然と新しい自然」、吉舎中学校3年原田朋香さん「JICA 訪問から考えたこと」、吉舎中学校3年立上夏生さん「インターネットの使用」、日彰館高等学校3年坂本晋一朗さん「大切にしていきたいもの」で自分の思いを発表しました。来場の方からは「テーマを子どもなりに理解して発表する姿は、大人の胸を打つものがあった。」という声を頂きました。

第3回きさ音楽祭では、安田小学校の「太陽にチャレンジ」・「エール」からスタートし、八幡小学校「オペレッタ『八幡の四季』」、吉舎小学校は1～3年生「パレード ホッポー」、4～6年「栄光の架け橋」、全校で「Voices」を披露しました。安田・八幡小学校の発表には、卒業生として中学生も参加し一緒にハーモニーを奏でました。その後きさ泉コーラスの皆さんの「Birthday」・「見上げてごらん夜の星を」とあたたかく優しい歌声を披露して頂きました。吉舎中学校は1年生「unlimited」、2年生「HEIWAの鐘」、3年生「夢をあきらめないで」・能「羽衣」の謡を披露。続いて、日彰館高等学校吹奏楽部の皆さんに「栄光の架け橋」の合唱を披露して頂きました。合唱が終わり今年度は、吉舎中学校・日彰館高等学校の吹奏楽部が演奏を行い、最後に、二校の吹奏楽部で「Believe」を演奏し、来場者全員の大合唱で音楽祭を締めくくりました。来場された方から「吉舎町内の



団結と一体感の大切さ・絆を感じた。」「児童生徒の一生懸命な姿を見られて、元気をもらいました。」という声を頂きました。多くの方にご来場いただき、ありがとうございました。

♪ 地域の方からの感想です。♪

- 素晴らしい教育の日を企画していただきありがたい。
- 小中高を通じていい発表だった。
- 吉舎町内保小中高校と一つの行事をやるのはとても良いことだと思います。
- 運営も含め、中学生としての成長が見られる会でした。
- 子どもたちの成長を見ることができて良かったです。
- 中学校のおもてなしの気持ちが伝わりよかったです。
- 児童・生徒の一生懸命な姿を見られて、元気をもらいました。吉舎町の将来を担う子どもたちが素直に育つように見守っていきたいと思います。
- 成長の姿を見守られてうれしいです。吉舎町へ残ってくれたり、帰ってきてくれたりするような思い出多い学校生活を送ってほしいものです。

♪ 吉舎小学校児童の感想です。♪

吉舎小学校 三年 原田えある

「きさ音楽祭」

今日、きさ音楽祭がありました。私が、がんばったことは、歌です。理由は、パレードホッポーは、三年生が歌うところと一・二年生が歌うところとパートに分かれるからです。ボイスを歌う時は、息づきをつなげるところがむずかしいからです。

さいごに、ビリーブを歌ったとき、私は、こう思いました。友だちのことを思いながら歌おうと思いました。「気づいたらいつもそばに友だちがいるよ。自分が思った事は、きちんと伝え、ともだちのことを理かいてできるようにがんばろう。」と思いました。

吉舎小学校 六年 中村 望来

「きさ教育の日」

今日は、きさ教育の日で、意見発表会と音楽祭がありました。十三時からの意見発表大会では、いすにすわって待っている時は、たくさんの人が見ていて、とてもきんちょうしました。

「それでは、中村さんお願いします。」と言われて、台の前に行って礼をすると、拍手が聞こえて「がんばろう。」という気持ちになりました。

今までの練習でアドバイスしてもらったことを思い出しながら、堂々と自信を持って発表できました。終わってから礼をすると大きな拍手が返ってきて、とてもうれしかったです。私が発表したことによって、少しでも核なき世界の第一歩につながれば、とてもうれしいです。

次のきさ音楽祭では、私たち吉舎小は、三番目で「栄光の架け橋」では、六年生だけのところは、しっかり歌えたけど、あとのところは、もう少し大きな口で歌えば良かったです。「ボイス」では、低音を気持ち良く歌うことができました。

特にすごかったのは、中学三年生の人の歌と日彰館吹奏楽部の演奏です。どちらもはく力があってすごかったです。

今日のきさ教育の日の意見発表大会は、とてもいい経験になり、音楽祭はとても楽しかったです。来年も楽しみです。

♪ 八幡小学校児童の感想です。 ♪

八幡小学校 三年 和田 ゆめ
きさ教育の日があった

11月25日、きさ教育の日がありました。私の目標は、みんなにたよらず歌う事、高い音を強く歌う事、地域の人が感動できるように練習したことを全部発揮することです。その後練習して、吉舎中学校へ行きました。

いよいよ私たちの番です。私たちが歌った曲は「ふる里の山」「川は生きている」「そつぎょう」「ふる里の川」です。「ふる里の山」は元気がよくて、「川は生きている」と「そつぎょう」は高い音が強く出せていて、「ふる里の川」は出だしが出てよかったなと思いました。前のオペレッタよりいいなと思いました。そして、吉舎小学校や吉舎中学校の歌を聴き、日影館高校や吉舎中学校の音楽演奏を聴きました。

そして、うたの最後にビリーブを歌いました。最後、音楽を聴きながら歌えたのが楽しかったです。

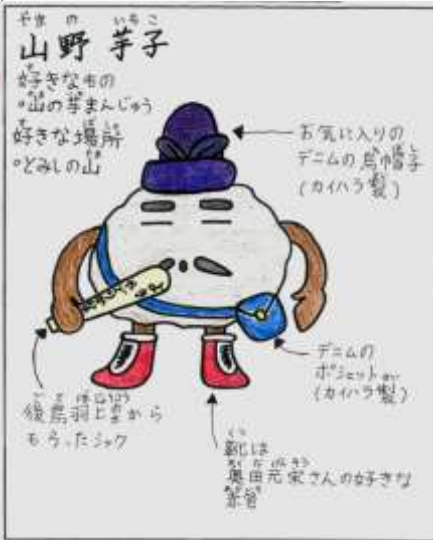
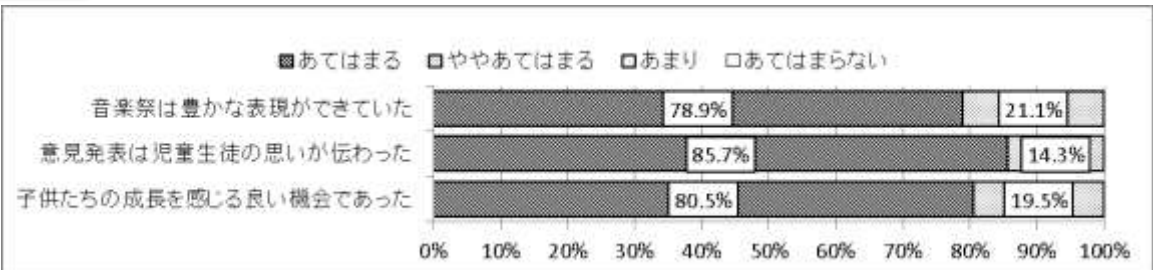
一番最後に、夢キャラの表彰式で、八幡小学校では、正木さんが選ばれていたのすごいなと思いました。楽しかったです。また、きさ教育の日で、地域の人を感動させられたらいいなと思いました。

八幡小学校 五年 松尾 由衣

今日は、きさ教育の日でした。一番初めに意見発表会がありました。みんな「核」などをやめたり、優しい心を持ったりする決意を發表しました。

いよいよきさ音楽祭が始まりました。あいさつが終わり安田小学校です。手拍子がそろっていたので良く、おもしろかったです。いよいよ私たちの番になりました。緊張する中、私は大きな声で歌いました。するとだんだん拍手がたくさん返ってきました。うれしかったです。私はたくさん練習してきたおかげで、高い所も大きな声で歌えたと思います。また、来年がんばりたいと思います。

保護者・地域
アンケート結果



「夢キャラ」
グランプリ決定

♪ 吉舎中学校生徒の感想です。 ♪

(1年)

○今日は意見発表と音楽祭があった。意見発表ではとても納得できるものがあってすごい長い文章ですごいと思った。音楽祭では間違えてしまったところもあったけど、精一杯することができた。

○「きさ音楽祭」があった。1年生の合唱は「アンリミテッド」を歌った。また、八幡小学校出身の卒業生は八幡小の人とも歌った。とても楽しく歌えた。そして小学生に良いお手本となれて良かったと思った。

○1年生の歌は、文化祭の時よりも音量が上がったと思う。吹奏楽部として、まだ先輩についていけただけだったけど、積極的に動けて良かった。特に私たちの「ルーマニア」は、最初よりもきれいで、自分でもびっくりした。最後の「ビリーブ」も迫力があって感動した。

(2年)

○自分の出身校のオペレッタを歌ってとっても懐かしいなと思いました。2年生の合唱では、文化祭の時よりも、リズムがゆったりとして、歌詞の意味を考えながら歌うことができたのではないかと思います。「さあ、いこう」も言えたのでよかったです。

○印象に残っているのは、安田小学校の合唱です。僕は、「あの人数ですごい声が出ているなあ」と思いました。本当にすごいと思った。

○それぞれの意見を真剣に聞けたし、歌は平和の大切さをたくさんの人にきれいに大きな声で伝えられていたと思う。

(3年)

○今日はきさ教育の日でした。吉舎全体で盛り上がったと感じた。これからもっともっと吉舎を盛り上げていきたい！

○音楽は人々を“ツナグ”…。どこかでそんなことを聞いたことがあります。音楽祭はまさにそんな感じでした。いつの時代も人類は音楽を探し、愛し、求めてきた。時代を、世代を、人々をツナグ音楽…。人々は交わり1つになる。

○安田小学校や八幡小学校のみんなとも一緒に歌えてよかった。でも風邪を引いて、うまく歌えなかった。日影館の先輩方の演奏や合唱を聴いて、やっぱりすごいという思いとともに感動しました。今日で、吹奏楽部のみんなと演奏するのは最後だったけど、悔いのない演奏ができてよかった。

◎きさ小中一貫教育「ふるさと大使」

平成29年11月25日からきさ小中一貫教育推進協議会の「ふるさと大使」としていろんなところで活躍していきます。「山野芋子(やまのいもこ)」くんの生みの親、吉舎中2年音野伸貴くんが、芋子大使の紹介を書いてくれています。

<山野芋子の紹介>

いつも静かで心優しい山の芋の貴族。
じゃがいもに間違われると怒る。奥田元宋さんに憧れていて絵を描くのが趣味。古くから吉舎に住み、あの後鳥羽上皇と酒を酌み交わしたこともある。ちなみに船に乗ったことは…ないらしい。